

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2年 2月 27日

事業所名: 学童クラブそよ風

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1		園庭を広げていくことを計画しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	8		人員基準は満たしているが放課後という短く、子どもが帰ってくる時間帯で職員が定着せず、いつも足りない状況である。有給も取りにくい。働き方改革も含めて行政に対しても意見を述べていたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1	職員会議を中心に毎日のミーティングを行っています。	毎月の職員会議、毎日のミーティング、送迎時の報告、様々なところで伝え合いを密にし、いいえの意見がなくなるように努めていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	7		現状、第三者評価を行っていません。外部に開かれた施設運営を行っていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	4		研修が少ない。いろいろな研修に参加できるように配慮が必要。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4	アセスメントシート	標準化されたアセスメントツールは使用していません。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1		いいえについての意見がありませんが、もっと具体的に支援内容を設定し計画に沿って支援を行っていきます。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	9	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2		立案は個人で行うことが多く、チームでの話し合いはもっと必要。

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	2		活動の振り返りができておらず、次の活動に生かされていない。
	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	1		課題設定、個別活動と集団活動における子どもへの支援を全て職員に理解できてもらえるように会議、研修も含めて検討していきたいと思います。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0		支援前のミーティングを行っています。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	5		そよ風の勤務体制上に支援終了後に全員が集まったの振り返りを行うことは難しいです。支援前のミーティングをしっかりと行っていきます。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		わからないという意見が多かった。日誌をしっかり会議に反映しきれていないからであり、日誌は本当にしっかり書いてくれています。それを日誌からの意見として毎月の個別の支援会議、身に太リングに出し、モニタリングを
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		放課後等デイサービスガイドライン研修を1年に1回行っていきます。
	22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	4		
関係機関や保護者との連携関係機関や保	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		サービス担当者会議など福祉行政のシステムについても研修を行っていきます。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	0		たちばな支援学校とは常に連絡を取り合っています。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2		重症心身障害の子どもを受け入れているが、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる体制整備はできていない。そのためにどういった連携がされているのかわからないという回答が多かった。福祉行政についての研修も行っていきたい。
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	3		
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1		児童発達支援センターおひさま園、なのはな園と連携をしているが、それがまだ周知できていない。もっと関わりを密にして連携を感じられるよ

保護者との連携	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10	0		うにしていきたい。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4		
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	8		交流はない。どのような形で進めるべきか保護者の方々とともに考えていきたい。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	0	有田圏域自立支援協議会子ども部会に参加	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1		毎月の職員会議、毎日のミーティング、送迎時の報告、様々なところで伝え合いを密にし、いいえの意見がなくなるように努めていきます。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	6		ペアレントトレーニングと呼ばれるものは行っていない。おひさま園とも連携・協力しながら行っていきたい。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0		
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	10	0		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0		
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1	保護者会	保護者会を年2回開いています。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0		
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1	毎月の会報 HP	毎月の会報。HPなどで発信していることを職員にも周知徹底していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		毎月の職員会議、毎日のミーティング、送迎時の報告、様々なところで伝え合いを密にし、いいえの意見がなくなるように努めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	9		できていません。検討していきたいと思います。
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	0		
47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0			

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	5	5	食物アレルギーについては、保護者にチェック表、あればアレルギー検査表を提出してもらっているが、医師の指示書まで求めている。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	7	虐待防止の伝達研修が行っているが、幅広く職員を研修の機会を与えていない。身体拘束が行う必要がある子どもがいないために対応方法がわからない職員が多い、いなくてもいた場合において、どのように対応するべきか虐待防止研修を徹底して行っていきたい。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	8	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。